

2021年2月18日

エムオーテックス株式会社

ディーピンスティンクト株式会社

MOTEX と Deep Instinct、米国の AI アンチウイルス「Deep Instinct」の提供と、「LanScope」と連携した統合エンドポイント管理ソリューション開発で協業開始



エムオーテックス株式会社(本社:大阪市淀川区、代表取締役社長:河之口達也/以下 MOTEX)とディーピンスティンクト株式会社(本社:東京都港区、カントリーマネージャー:並木 俊宗/Deep Instinct(ディーピンスティンクト、本社:米国ニューヨーク州、以下「Deep Instinct 社」))は、日本における MSSP 契約を締結しました。これにより、MOTEX は Deep Instinct 社が開発・販売するディープラーニングによるサイバーセキュリティ「Deep Instinct(ディーピンスティンクト、以下「Deep Instinct」)」を MOTEX が提供する外部脅威対策ソリューション「Cyber Protection Managed Service(以下 CPMS)」のラインアップとして採用し、2月18日より販売を開始します。

今後 MOTEX と Deep Instinct 社は製品連携を行い、「内部不正対策」と「外部脅威対策」を統合する「最先端の統合エンドポイント管理製品」として、お客様のセキュリティ課題解決をご支援いたします。

また MOTEX は、今後は当社販売パートナーと連携し、2年で国内 10 万ライセンスの販売を目指してまいります。

▼CPMS powered by Deep Instinct 製品サイト

<https://www.lanscope.jp/cpms/deepinstinct/>

■ ディープラーニングを利用したサイバーセキュリティ「Deep Instinct」の特長

画像認識や車の自動運転で大きな成果をあげている AI(人工知能)の一つ、ディープラーニング(深層学習)を世界で初めてセキュリティ対策に取り入れ、攻撃を高い精度で予測し、防御できるのが Deep Instinct です。

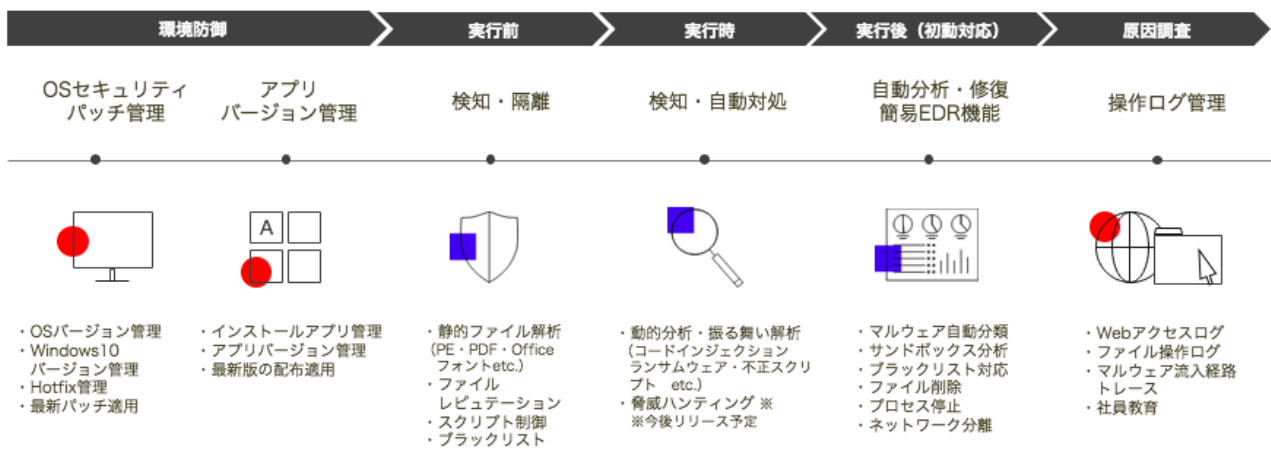
Deep Instinct は、数十億を超える実際の攻撃データファイルと無害なファイルの「生データ」を全て学習させることで、AI 自らマルウェアの特徴を抽出し「予測モデル」を作成します。この予測モデルは、AI 自らが作成可能な為、モバイルを含めた多様な OS、ファイルに対して適用できる点が、大きな特長です。

	主な検知の手法	検知対象	検知の タイミング	未知の脅威 への対応	誤検知
従来型 アンチウイルス	静的解析 (シグネチャ)	ファイル	実行前	×	少ない

EDR	動的解析 (振る舞い検知)	イベント	実行後	△	多い
Deep Instinct	静的解析 (ディープラーニングの 予測モデルによる判定)	ファイルと イベント	実行前	○	少ない

■ 今後の展望: LanScope と連携した統合エンドポイント管理ソリューション

両社は、LanScope と Deep Instinct の連携により、環境防御からマルウェア対策・原因調査までを一貫して提供できる外部脅威対策ソリューションの共同開発を開始します。LanScope のユーザーインターフェースから Deep Instinct で検知した外部脅威の確認、マルウェア流入経路確認機能として、Web 閲覧、ダウンロード、メール添付ファイル開封など、原因となるユーザー操作をトレースする機能の実装を予定しています。



■ エムオーテックス株式会社 代表取締役社長 河之口 達也コメント

「国内でセキュリティ対策に本格的な AI を活用している組織はまだ一部にとどまっています。一方でサイバー犯罪者側の技術は高度化し、従来のソリューションでは防御が不可能になっています。ディープラーニングを活用しあらゆる OS・デバイス・ファイルに対応した Deep Instinct と LanScope を連携させることで、ハイエンドの統合エンドポイント管理ソリューションを提供し、お客様の課題解決をご支援していきます。」

■ Deep Instinct 社 CEO 兼共同創業者 Guy Caspi(ガイ・カスピ) コメント

「我々が注力する日本市場において、ソフトウェアメーカーとして豊富な経験と知識を持つ MOTEX と提携したことは大きな意味があります。リモートワークやクラウドシフトにより、ラップトップからモバイル端末までエンドポイントセキュリティの必要性が益々高まっています。MOTEX とともに、ディープラーニングを活用してサイバー脅威を未然に防ぐことができる新しいサイバーセキュリティソリューションを提供していきます。」

■ Deep Instinct について

Deep Instinctは、サイバーセキュリティにエンドツーエンドの深層学習を適用している最初かつ唯一の企業です。あらゆる種類のマルウェア、既知および新規のマルウェア、初見のマルウェア、ゼロデイ、ランサムウェア、APT(高度で継

続的な標的型攻撃)など、あらゆる種類の攻撃をゼロタイムで予測・防御し、ネットワーク、エンドポイント、モバイルなど、企業内のあらゆる場所で、比類のない精度とスピードで、多層的な防御を可能にします。

▼ Deep Instinct 製品サイト

<https://www.deepinstinct.com/ja/>

■ CPMS powered by Deep Instinct について

「CPMS powered by Deep Instinct」は、世界で初めてサイバーセキュリティにディープラーニング採用したAI アンチウイルス「Deep Instinct」に、MOTEX の初期運用支援などの技術者支援を付加し、より手軽に「Deep Instinct」を運用できるサービスです。



▼ CPMS powered by Deep Instinct 製品サイト

<https://www.lanscope.jp/cpms/deepinstinct/>

▼ 価格について

別途、お問い合わせください。

■ LanScope について

「LanScope Cat」は、IT 資産管理・内部情報漏えい対策の分野でシェア No.1(※1)を誇る「統合型エンドポイントマネジメント」ツールです。エンドポイントにおいて、外部脅威対策・内部不正対策・IT 資産管理をカバーし、ログ運用を中心とした統合管理が可能です。

▶ LanScope Cat 製品サイト: <https://www.lanscope.jp/cat/>

「LanScope An」は、5,000 社以上が導入。

レビュープラットフォーム「ITreview」では、MDM・EMM(モバイルデバイス管理)部門において Leader を獲得し、お客様からも高い評価をいただいています。最新の LanScope An は Windows 管理に必要な不可欠な操作ログ・ファイル配信機能を実装。市場シェア No.1(※1)の IT 資産管理ツール「LanScope Cat」で培ったノウハウと充実のモバイル管理で、PC/スマホの一元管理を実現しました。

▶ LanScope An 製品サイト: <https://www.lanscope.jp/an/index.php>

※1: 富士キメラ総研「2005~2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」の「IT 資産管理ツール」分野 (2018 年度)

■ エムオーテックスについて

MOTEXは、「Secure Productivity」をミッションとして掲げ、組織のIT活用における安全と生産性の両立を追求するソフトウェアメーカーです。サイバー攻撃、内部不正のリスクから組織を守り、IT活用による組織の生産性を高めるプロダクト、サービスの企画・開発・販売からサポートまで一貫して提供します。

▼ MOTEX コーポレートサイト

<https://www.motex.co.jp/>

会社概要

社名	エムオーテックス株式会社
所在地	〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-12-12 エムオーテックス新大阪ビル
代表	代表取締役社長 河之口 達也
事業内容	自社商品“LanScope”シリーズの企画・設計・開発・販売
資本金	2,000万円
URL	https://www.motex.co.jp/